

解 答

- 一 問一 ニ
問二 きまりきつ
問三 身
問四 イ
問五 型を完全にマスターしたうえで、「型やぶり」をして、自由な自己表現をすること。
問六 アの観客は、型の芸術、舞台での役者の見せどころであるパターン化された演出のしかたを心得た観客であり、イの観客は、型を個性に欠けたマンネリズムとみなす近代化された時代に育った型を知らない観客のことである。
問七 食事作法
問八 ハ
問九 A 訪(れる) B こうじょう C せんぼう D くちょう E 発揮
- 二 問一 (どうせ)命の大切さなんて言葉では教えられないんだから
問二 いろいろな生き物を飼ってみるという状態を楽しんでおり、子どもたちも生き物に対してより興味をもつようになり、優しい気持ちをいただくようになったと思えるから。
問三 ・えさをたくさんやりすぎて水を汚すこと。
・水槽に魚をたくさん入れすぎて死なせてしまうこと。
問四 命の大切さ
問五 ニ
問六 口
問七 ホ
問八 A 備(え) B 悲鳴 C 加減 D 快適 E 経(なければ)
- 三 ① 傷 ② 誌 ③ 腹 ④ 群 ⑤ 盟